



# 「小椋佳 作詞作曲 校歌」

# 小林やすお

昌平小学校から「昌平だより」が届き、3月号は校長先生の記述で校歌の話でした。昌平小校歌は、小椋佳さんの作詞作曲で私がPTA会長を務めている時に、小椋さんの事務所に伺いご本人に制作を直接お願いしたものです。校長先生の了承が得られましたので、「昌平だより」に掲載しマンスリーといたします。



## 昌平だより

千代田区立昌平小学校

№11 3月号

令和4年3月1日発行



### あの橋を超え あの坂を超え

校長 浅岡寿郎

<p>あー あの橋を超え あの坂を超え</p>	<p>二 相生 紅梅 男坂 万世 昌平 聖橋 輝く理想 探していくよ 豊かな心 育てていくよ 習うことが好き 試すことが好き 想うこと 創ることが好き 心を磨き 体を鍛え あの橋を超え あの坂を超え 昌平の夢 かなえに行こう</p>	<p>一 相生 紅梅 男坂 万世 昌平 聖橋 元気な声が 響いてくるよ 明るい顔が 集ってくるよ 学ぶことが好き 遊ぶことが好き すばらしい 友達 大好き 心を磨き 体を鍛え あの橋を超え あの坂を超え 昌平の夢 かなえに行こう</p>	<p>昌平小学校校歌 「あの橋を超え あの坂を超え」 作詞・作曲 小椋佳</p>
---------------------------------	--	--	--

**【校歌 その歌詞とメロディ】**  
 昌平小学校の校歌を作詞・作曲した小椋佳先生は、台東区上野生まれ、東京大学を卒業後に日本勧業銀行に入行し、その後1970年代に異色のシンガーソングライターとして数々のヒット曲を生み出しました。透き通ったメロディと年代を問わず心に響く歌詞、自分の青春時代が今でもよみがえってくる素敵な音楽です。昌平小学校に着任し、その小椋佳先生が作詞・作曲をした校歌を初めて聞いたとき、すーっと心の中に染み入る感覚、優しさと強さが共存したような詩に触れ、何度も口ずさむようになりました。  
 その大好きな校歌ですが、コロナ禍の影響により、子どもたちと一緒に歌える機会がほとんどなくなってしまいました。

**【二十数年を経過してもかわらないもの】**  
 校歌にある言葉、一行一行の詩には、これからの時代に求められる学校像が詰まっています。昌平小学校が誕生してまもなく三十年を迎えようとしています。当時の地域の方、教職員の思いは連綿と続いているのです。伝統とは有形無形の様々な姿ではありますが、昌平小学校が何を大切にしてきたのか、何を引き継いでいくのかを校歌は教えてくれます。  
 そして、「あの橋を超え あの坂を超え」にある「越える」ではない「超える」を用いた小椋佳先生の思いには、子どもたちの大いなる成長を願い、昌平小学校に関わるすべての人々の夢を託したものと確信しています。

令和3年度の修了、そして6年生の門出をまもなく迎えようとしています。これまでのご理解とご協力に深く感謝いたしますとともに、来年度も昌平小学校の子どもたちのためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。